

教科書を読んで、まとめてみましょう

＜列強と帝国主義＞



帝国主義についてまとめてみよう。

日米修好通商条約で結ばれた不平等な内容をまとめてみよう

1886年（ ）号事件→ ※事件の内容は教科書P. 175下



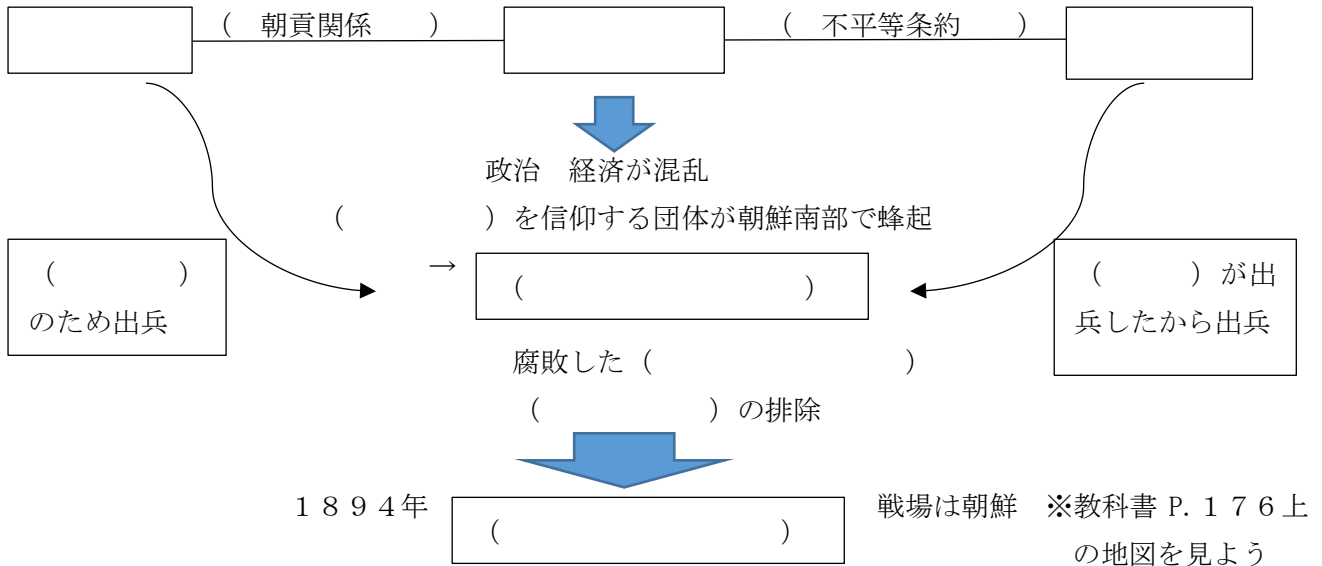
1894年（ ）条約で（ ）の撤廃に成功
（ ）外務大臣（外相）のとき

東アジアの情勢のところを読んでまとめてみよう

3 節 日清・日露戦争と近代産業

教科書を読んで、まとめてみましょう

2 日清戦争



1895年 () 条約の内容をまとめよう

<三国干渉と加速する中国侵略>

ロシアは () や () とともに三国 () をする。
「日本が獲得した () を清に返還しなさい！！」

↓
対抗できない () は、これを受け入れた。
清が日本に負けたことを見て、() の中国侵略が加速する。

※ 教科書 P. 177 上の地図を見よう

<日清戦争後の日本>

三国干渉により () への対抗心が高まる
→ 大規模な () の拡張
伊藤博文は () を結成

3 節 日清・日露戦争と近代産業

教科書を読んで、まとめてみましょう

3 日露戦争

<義和団事件>

1899年 () 事件

() を唱えた義和団が蜂起。

→ 列強は連合軍を結成して鎮圧。() も参加。

鎮圧後も () は満州にとどまる

日本は1902年 () 同盟
を結んで、ロシアに対抗。

1904年 () 戦争が始まる。

※教科書P. 179上の地図を見ておこう

戦争反対

社会主義者 ()

キリスト教徒 ()

()

「君死にたまふことなかれ」

ロシア

1905年に
「血の日曜日事
件」という
() 運
動が起きる

日本

莫大な戦費、死
者多数で戦力に
限界

アメリカ

日本とロシアの
どちらか一方が
力を持ちすぎる
のはよくないと
考えた

1905年 () 条約 ← () の仲介

ポーツマス条約の内容をまとめよう

ロシアから賠償金をとれ () → 日本国民の不満 () 事件

<日露戦争後の日本>

ロシアに勝利→ 日本国民は () 意識、() 諸国に対する優越感をもつ。

() () などアジア諸国の民族独立の運動が活発化

3 節 日清・日露戦争と近代産業

教科書を読んで、まとめてみましょう

4 韓国と中国

<韓国の植民地化>

1905年 () の () 権を奪う

1907年 () を退位させる

韓国 () を設置

内政と () を支配

韓国では () 運動が広がる。

1910年 韓国 ()

朝鮮 () の設置

() を背景とした () 支配

同化政策→ () を教えることを禁止

↓

() () を教える

土地調査事業→ () の土地を奪う

→ 小作人になる

<満鉄の設立>

日本は () 会社→ 略して () を設立

<中華民国の成立>

() 革命

() をたおして () 民族の独立を目指す

1911年 () の反乱→ 全国に () が広がる

多くの省が () から独立を宣言

省は、日本の都道府県のようなもの。

1912年 () 建国 → アジア初の ()

首都 ()

臨時大統領 () → ()

() : 民族の独立

() : 政治的な民主化

() : 民衆の生活の安定

清の滅亡

() は、皇帝を退位させる。

→ () から臨時大統領の地位を譲り受けた

() 政治を行う

袁世凱死後、() によってバラバラに支配

日本の戦国時代のような感じ。

3 節 日清・日露戦争と近代産業

教科書を読んで、まとめてみましょう

5 産業革命の進展

<産業の発展>

1880年代後半 () 工業が発展

→ () () など



() への輸出で発展

1901年 日清戦争の賠償金で () の建設

動力源の石炭は () 地域や () から

産業の発展を支えた要因

() の発達 → () が全線開通

鉄道の () 化

() の成長 → () () () などの多角経営

<資本家と労働者>

産業革命がもたらした社会問題

・労働問題 女子労働者 → () 業、() 業

男子労働者 → () 山、() 業



() 賃金

() 労働 → 紡績業で () 時間労働



() 争議の増加

・公害問題 () の鉱毒事件 ← ※教科書 P. 192 () を読んでみよう

<地主と小作人>

都市人口の増加

鉄道の発達 → 農作物の () が進む

↓ 資本主義の発展

富をたくわえた地主 → () に投資したり企業を作ったりする

小作人 → () を工場に働きに出したり副業を営んだり

3 節 日清・日露戦争と近代産業

教科書を読んで、まとめてみましょう

6 近代文化の形成

<新しい文章>

それまでの () にかわって、() で表現する () の小説が登場。

() 「浮雲」

日清戦争前後 (1894 年ごろ)、個人の感情などを重視する () 主義が主流。

() 「みだれ髪」

() 「たけくらべ」

日露戦争前後、社会や人間の現実をえがく () 主義が主流になる一方で、より深く個人と社会の問題を追究する () 主義もあらわれる。

() 「一握の砂」

() 「吾輩は猫である」

() 「舞姫」

※ 下の表についている人を教科書や資料集で確認しておこう

学 問	[細菌学] (北里柴三郎) (破傷風の血清療法を発見)
	(志賀潔) (赤痢菌を発見)
	(野口英世) (黄熱病の研究)
	[化 学] (鈴木梅太郎) (ビタミンB1を精製)
	(高峰譲吉) (タカジアスターゼを精製)
	[天文学] (木村栄) (緯度変化の研究)
	[地震学] (大森房吉) (大森式地震計を発明)
	[物理学] (長岡半太郎) (原子構造・模型の研究)
美 術	[日本画] (フェノロサ) と (岡倉天心) 日本画の復興
	(横山大観) 「 無我 」
	[洋 画] (黒田清輝) 「 読書 」
	(高村光雲) 「 老猿 」
そ の 他	[洋 楽] (軍隊歌) (小学校唱歌) で普及
	(滝廉太郎) 「 荒城の月 」 「 花 」